

各 位

会 社 名 ビーピー・カストロール株式会社  
代表者の役職名 代表取締役社長 平川 雅規  
(コード番号 5015 スタンダード市場)  
問い合わせ先 取締役財務経理部長 田中 正子  
T E L 03-5719-7830

## 中東情勢の緊迫化に伴う当社事業及び業績への影響のお知らせ

当社は、昨今の中東情勢の緊迫化に伴い、原油市場及び石油化学製品を取り巻く事業環境が当社の事業活動や業績に与える影響について、現時点における認識及び今後の対応方針を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 中東情勢の影響について

現在、中東情勢の緊迫化に伴い、国際的な原油市場において価格変動が生じているほか、石油化学製品を中心とした原材料の供給及び物流面において、不透明感が一段と高まっております。

これらの事業環境の変化は、潤滑油を含む石油関連製品を取り扱う業界全体において、原材料コストや調達環境に影響を及ぼす要因となるものと認識しております。

#### 2. 当社事業への影響について

当社は、潤滑油製品の安定供給を最優先事項と位置づけ、平時よりグローバル及び国内の調達ネットワークを活用し、原材料の安定確保及び供給リスクの低減に取り組んでおります。一方、昨今の中東情勢の緊迫化に伴う石油化学原料の調達環境の変化は、世界的な潤滑油供給に多大なる影響を及ぼしており、当社においてもその動向を注視しております。現時点では、製品供給体制への影響を低減すべく、調達・生産・在庫運営等において様々な取り組みによる対応を進めております。

中東情勢の緊迫化が当社の業績に与える影響については、原油価格の変動、原材料及び物流コストの動向、為替変動、並びに需給環境の変化など、複数の不確定要素が相互に影響し合う状況にあり、また、それらの影響が調達時期、生産・供給計画、在庫水準、市場環境等により時間差をもって顕在化する可能性があることから、現時点において合理的な前提に基づき、短期的及び中長期的な影響を含めて定量的に算定することは困難な状況にあります。

このため、現時点では、業績予想の修正等、定量的な影響額を伴う開示は行っておりませんが、当社では引き続き関連情報の収集及び影響分析を継続しております。

#### 3. 今後の見通し

当社は、今後も中東情勢を含む地政学的リスクや原油・原材料市場の動向を注視し、必要に応じてリスク分析及び対応策の見直しを進めてまいります。

今後、当社の事業活動または業績に重要な影響があると判断した場合には、その内容について速やかに適切な情報開示を行う方針です。

以上